

令和8年西条市二十歳の集い

総合文化会館

謝辞

篠塚 美釉

本日は、私たちのために、このように温かい式を開いていただき、誠にありがとうございます。

ご来賓の皆さま、そしてこれまで私たちを支えてくださった家族や地域の皆さまに、心よりお礼申し上げます。

今日、こうして成人の日を迎えられたのは、決して自分の力だけではありません。家族の支え、先生方の教え、そしてともに歩んできた仲間たちの存在があってこそ、今の私たちがあります。当たり前のように過ぎていた日々がどれほど多くの方々に支えられていたのか、改めてそのありがたさを感じています。

これから私たちは、それぞれの道で社会と関わりながら生きていきます。自分のことだけでなく、誰かのためにできることを少しずつ増やしていけるように。そして、どのような状況でも感謝の気持ちを忘れず自分が誰かにしてもらったように、次は自分が誰かを支えられる大人になれるよう、一步ずつ努力を重ねていきます。

最後となりましたが、私たちの成長を見守り、導いてくださったすべての方々に、改めて深くお礼を申し上げます。今日という日を新たな節目として、責任を持って、自分の人生を誠実に、そして自分らしく歩んでまいります。

本日は誠にありがとうございました。